

2 目標達成計画

作成日: 平成 29年 5月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階に本人、家族と話し合いが出来ていない	本人・家族の思いに沿った生活を提供する	1①入所時に重度化した場合や終末期のあり方について、本人、家族の意思確認を行う 1②施設側として、出来ること、出来ないことを伝える 1③上記の内容をふまえ、互いの思いを理解しあい、本人、家族が安心して過ごせるように取り組む 2. スタッフ全員で共有 3. 重度化した場合や、終末期等に再度本人、家族に意思確認 3(1)①確認の内容を主治医、本人、家族、スタッフで共有。主治医から医療的な説明を受ける(家族、管理者同席) 3(1)②日々の生活で、その人の思いに沿った支援に取り組む (終末期の場合) ・毎日の申し送りで状態報告→食事・水分・排泄・バイタル・皮膚状態等 ・特変時は、主治医、家族へ随時報告 ・日中の訪室、夜間の巡視の徹底 3(1)③終末期独自の取組みのマニュアル作成 3(2)希望する施設、病院への入所、入院の支援	12ヶ月
2					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。